

登録コード	HM117800	開講年度	2026				
授業題目	消化器外科学特別研究					担当教員	副島 雄二 他
英文授業名	Research Thesis in Gastroenterological Surgery					副担当	清水 明・大野 康成・窪田 晃治
単位数	10	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年次
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【研究科共通 2024年度以前加付対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観					消化器疾患の病態、検査法、診断、治療法につき包括的に学習し、適切な治療を実践できるようになる。	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					消化器領域の発生・再生医学について学習するとともに、最先端の研究に触れることで、各自の研究へ活用できるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information	消化器疾患に対して、適切な治療方針を立てることができる。 適切な手術術式を立案することができる。 症例や術式に応じた術後合併症のリスク評価とその対策を立案することができる。 術後合併症に対して適切な対応をすることができる。						
(3)授業の概要 /Overview of course	消化管，肝臓，胆道，膵臓の悪性腫瘍を対象に，外科診断学，手術・治療学について学ぶ授業である。						
(4)授業計画 /Course plan	1．肝臓，胆道，膵臓の癌の診断法，手術適応と術式について（全25回） 2．消化管の悪性腫瘍の診断法，手術適応と術式について（全25回） 3．消化器領域の悪性腫瘍の集学的治療法と治療成績について（全25回）						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	全ての講義への出席状況、積極性をもとに総合的に評価する。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	授業の出席、予習・復習など、消化器領域の発生・再生医学の理解には計画的な学習が要求される。						
(7)質問、相談への対応/Questions and requests for advice	授業中、あるいは授業直後に直接質問を受け付けます。						
(8)授業の形式 /Course format	パソコンを用いた講義と研究指導。						